



業の現状とその影響、今後の対応について、どう考えるか。

【答】本市は、小規模な水田が多く、中山間地域で工夫しながら水田農業に取り組んでおり、生産意欲の減退や、不利な耕作地、遊休荒廃地化することが懸念される。不確定な要素もあり、今後国の動向を注視的に対応していききたいと考えている。

◆市民の健康増進を

【問】健康とスポーツ施設について、現状と、改修計画はどのようになっているのか。

【答】本市の体育施設は、設置から相当年数が経過した施設も多く、これまで計画的に改修を実施してきた。先に公表した実施計画に示したとおり、今後3年間で、市営野球場や市民プール、学校グラウンドの照明等を計画している。

◆観光の振興策は

【問】高ボッチ高原の整備と植物の増殖についての考えは。

【答】高ボッチ高原は、遊歩道の整備、木柵の取替えなどを行う。レンゲツツジの植生範囲も狭められ、花芽が枯れたり、株数も年々減少している。高原にふさわしい植生の在り方を検討する。

日本共産党

質問者 柴田 博  
鈴木明子

持ち時間113分

市民の暮らしを  
守り願いを  
実現する市政へ

◆特定秘密保護法について

【問】安倍内閣が強行採決により可決した特定秘密保護法は、日本がアメリカと一緒に海外で戦争できる国にしようとする法律といえる。この法律についての市長の考えはどうか。

【答】多くの国民が理解できる十分な審議がされたとはいえず残念。この法律の施行により、市民生活や自治体にとどのような影響があるか注視していく必要があると考える。

◆ごみ処理の状況は

【問】広域によるごみの共同処理の状況はどうか。また、ごみ減量化については構成市村で考えは一致しているか。

【答】ごみ処理は順調に行われている。本市の処理量は、一般家庭可燃ごみは横ばいだが、事業系ごみは増加傾向となっている。新組合として、焼却

ごみの減量と適正処理に力を入れながら、構成市村に計画的なごみ減量を要請している。

◆学校給食補助の考えは

【問】本市での学校給食の教育的位置づけは何か。また、市内産食材を使用するための価格差補助など、給食費の一部補助を行う考えはないか。

【答】位置づけは学校給食法に規定されている。本市では自校給食のメリットを生かした食育や地産地消を推進していく。現在、地産地消の推進により食材費が割高になっておらず、補助は考えていない。

◆福祉灯油を実施すべきでは

【問】灯油価格が高騰している。現在1ℓ100円を越える状況であり、前回補助時より高い。市民生活を守るため必要な対策をとるべきではないか。

【答】灯油価格は昨年より値上

がりしているが、県内18市で助成実施の予定はない。現段階では助成の考えはない。

◆介護保険法改定の影響は

【問】国は介護保険法改定を予定している。改定の内容はどのようなものか。制度改定は保険者である市町村にも大きな影響を及ぼすが、塩尻市としての受けとめはどうか。

【答】最近の議論では要支援のサービスの内、デイサービスとホームヘルプサービスを保障給付からはずし市町村事業とすることや、特養ホームの入所者を要介護3以上に限定するなどとしている。改定内容は詳細が示されておらず今後の方向を注視していく。

◆生活保護制度について

【問】今年の8月から保護基準額引下げが強行されたが引下げ額はどのくらいか。また、扶養を生活保護の前提にする」と記載された文書が本市でも使用されていたと報道されたがどのようなことか。

【答】70才以上の単身世帯で月310円の引下げとなっている。扶養親族への照会文書に「扶養義務者の扶養を優先的に受けることが前提となっている」との記載があったが、県の指導ですぐに改めている。



給食につかわれている市内産食材